

scholarship 奨学金について

学費について

進学のために、志望校の選択や入試の準備が必要なのももちろん、それとあわせて確認しておきたいのが、「お金のこと」。

このガイドブックの各学校ページにある“2020年度実績”内の『学費』を見てみると、それぞれの学校によって、必要な学費に差があることがわかります。また、「初年度納入金(1年目に必要な金額)」には、授業料とは別に入学金等の費用が発生するため、2年目以降に比べ多くのお金が必要です。入試を受ける際にも、当然お金は必要。受験料(検定料)も学校によって異なるので、事前に調べて準備しておきましょう。さらに、遠方の学校を受験する際には、学校の近くへ宿泊して入試に備える場合もあるので、宿泊費や交通費の用意も忘れずに。



奨学金の種類

「憧れのあの職種で働きたい!」そんな夢をもったみなさんが、学費の心配をすることなく希望の学校に入学することができるよう、様々な『奨学金制度』が準備されています。上手に奨学金制度を利用して夢をかなえた先輩もたくさんいます。

きちんと理解をして活用すれば、とても有益な制度ですので、学費が心配な方は検討してみてもいいでしょう。

奨学金を受けるにはいろいろな条件があるので、あらかじめしっかりと最新情報を調べるのが大切。ここでは、その手助けになるような奨学金制度を3つご紹介します。

Scholarship 1

日本学生支援機構(JASSO)の奨学金

日本で最も利用者が多い奨学金制度がこの日本学生支援機構の奨学金制度です。この機構内の奨学金制度には「貸付型」と「給付型」の2つがあります。また「貸付型」についても『第一種奨学金』と『第二種奨学金』の2種類に分かれています。

第一種 奨学金

無利子の奨学金。
特に優れた学生で経済的理由により、
著しく修学困難な人に貸与。

第二種 奨学金

利子が付くタイプの奨学金。
年3%を上限とする利子付きの奨学金で
在学中は無利子。
第一種奨学金より選考基準はゆるやか。

給付型 奨学金

返済が不要の奨学金。
2020年4月から新制度がスタートし、
対象となる学生の枠が広がりました。
また支給額も増額され、より
学業に専念できるようになりました。
さらに進学する学校が対象となれば、
入学金や授業料が免除または減額される
ようになりました。全ての学校が
対象ではないので、制度の利用を
考えている場合には、事前に
確認が必要です。

Scholarship 2

学校独自の奨学金

貸与条件や貸与額など詳細はそれぞれの学校によって異なります。入試での成績が優秀であることや、部活動での活躍、高校在学中の成績等によって奨学金の貸与を決定する学校などさまざま。他にも、創設者の基金による制度など、学校によっていろいろな奨学金制度が用意されています。学校の募集要項やホームページなどで概要を知ることができますが、実際に利用を考えているようであれば、その学校の入試担当部署等を通して直接問い合わせ確認しましょう。

Scholarship 3

地方自治体による奨学金

都道府県や市町村によっては、奨学金制度を設けているところがあります。条件として保護者もしくは本人がその地域に住んでいることが必須となる場合が多く、それ以外にも自治体によって申請に必要な資格や条件が異なります。例えば、看護師国家資格取得を目指す学生のための『修学資金制度』が整っている自治体もあり、資格取得後、その自治体が定めた病院や施設で、一定期間以上働くことと返済が免除される場合もあります。

これら以外にも民間の奨学金等の制度がいくつかあります。どの制度を利用するにしても、内容が変更となる可能性がありますので必ず最新の情報を確認し、貸与条件や返済条件等の詳しい内容を理解した上で利用してください。